

Technical Report Documentation Page

1. Report No. UMTRI-2013-32		2. Government Accession No.		3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle 車両における炭素捕獲に関するドライバーの意見調査				5. Report Date September 2013	
				6. Performing Organization Code 383818	
7. Author(s) John M. Sullivan, Michael Sivak, and Brandon Schoettle				8. Performing Organization Report No. UMTRI-2013-32	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, MI 48109-2150 U.S.A				10. Work Unit no. (TRAIS)	
				11. Contracts or Grant No.	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation				13. Type of Report and Period Covered	
				14. Sponsoring Agency Code	
15. Supplementary Notes Information about Sustainable Worldwide Transportation is available at: http://www.umich.edu/~umtriswt .					
16. Abstract <p>炭素の放出を削減する車載技術に関して、どれくらいドライバーが受容的なのかを割り出すためドライバーの意見についてオンライン調査が実施された。特に、この調査はドライバーがそのような技術を魅力的と見なすかどうか、もしそうであるならば、どれくらいの費用であればこの技術が受け入れられるのかを理解するために設計された。費用は次の 3 つの要素で評価された：イニシャルコスト、燃費の削減、および利用可能な貨物スペースの削減。分析は 536 の利用可能な調査に基づいている。</p> <p>調査対象となったドライバーにおいて、炭素捕獲技術の受容性は、人間の活動が地球温暖化に関連しているというドライバーの信条に依存していた。そのような発言に対して合意を報告したドライバーは、車に搭載された炭素回収技術をより受け入れることが判明した：彼らは一般的にこの技術に対してもっとお金を払うことをいとわない、もしくは、そのような技術に対してスペースと燃費を引き換えることをいとわない。</p> <p>全体的に回答者は 20%の炭素削減に対して約\$100、80%の炭素削減に対して約\$250 支払うことをいとわないように思える；彼らはまた、二酸化炭素の排出量を 20%削減するために燃費 5%の低下、80%削減するために燃費 10%の低下を受け入れるように思える；そして最後に、彼らは排出量 20%削減のために 10%のトランクスペース損失、80%削減のために 16%のトランクスペース損失を受け入れることをいとわないように思える。</p>					
17. Key Words 炭素捕獲, 消費者の意見, 車載炭素捕獲				18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None		20. Security Classification (of this page) None		21. No. of Pages 35	
				22. Price	